

全国農業



2024年(令和6年)

3月15日

金曜日
月4回金曜日発行

首都圏

フルーツ農園で働き交流広げる

独立就農めざし奮闘

笛吹市の会田さん、技術磨く

【山梨】笛吹市の旬マルサフルーツ古屋農園でモモやブドウなどの栽培を担当しているのが会田千咲さんだ。大学卒業後プロバスケットボールチームのチアリーダーや都内でリラクゼーションのセラピストとして働いていたが、豊かな自然の中で農業をしたいと2021年に同社に入社。日々

の農作業を精力的に行うとともに地元農家との交流を重ねてきた。

昨年はさらなる挑戦として、外見だけでなく生き方や習慣などが持つ美しさに焦点を当て、社会貢献する魅力的な女性を発掘するコンテスト「ビューティー・ジャパン2023」に出場。地区予

選を突破し、日本大会に出場した。

日本大会ではさまざまな職業の女性と交流し、農業に対する思いを見つめ直すきっかけとなって大会後も連絡を取り合っているという。会田さんは「今後さらに農業技術を磨きながら、独立就農をめざしたい」と語る。

会田さんの発信する情報とマルサフルーツ古屋農園の情報は、二次元コード参照。



@CHISA_NOKKI_321



@MARUSA_FRUITS

①会田さんのインスタグラムの二次元コード、②マルサフルーツのインスタグラムの二次元コード



会田さん(右)とマルサフルーツの古屋代表